

令和元年度第2回

地域包括支援センター展勝地

さくらネットミーティング

報告

令和元年6月14日（金） 13:30～

二子地区交流センター 多目的ホール

参加者

- ① やちだもの家北上ケアプランセンター
- ② 介護相談センターふたご
- ③ エスカール在宅介護支援センター
- ④ 居宅介護支援事業所浮牛の里
- ⑤ 八天の里在宅介護支援センター
- ⑥ グループホームやちだもの家北上
- ⑦ グループホームくちない
- ⑧ グループホームさらき
- ⑨ 看護小規模多機能居宅介護きずなの森
- ⑩ 地域密着型特別養護老人ホーム浮牛の里
- ⑪ 特別養護老人ホーム八天の里
- ⑫ 地域の支援者：（区長、公民館長、民生委員、社協支部長・職員、駐在、消防団、郵便局長、ボランティア団体）
- ⑬ 社協本部
- ⑭ 行政

本日のメニュー

- ① 研修目的： 今日の研修内容・趣旨説明 5分
- ② 情報提供： 北上市の主な高齢福祉事業について 10分
北上市保健福祉部長寿介護課
高齢福祉係長 平野 千帆子 氏

○福祉ふれあいホットライン事業

○北上市高齢者見守り安心ネットワーク（鬼まもるネット）

○北上市在宅高齢者等配食サービス事業

○おでかけ券（高齢者バス運賃等助成事業）

③ グループワーク

「独居高齢者を地域で支えるには」

20分

▶ テーマ：「10年後の二子・更木地区に向けて！」

- ・こんな制度（サービス）があれば良いな。
- ・自分だったらこんな感じに支えられたい。
- ・地域の方を見守って、支援して、お手伝いして成功した事例など

※3つのうちどれか1つでも良いですし、時間内で複数話し合っていただけでも良いですし、お任せいたします。

※司会は主任ケアマネ、不在の所は管理者または経験のあるケアマネにお願いいたします。

④ グループ発表

20分

⑤ 感想 二子・更木両地区交流センター長より

10分

グループワーク

①グループ

- ▶ ・人口の減少で高齢者が多くなる。
- ▶ ・二子は農業と工業の狭間にあり、人口は減ってはいるが、40年後には高齢者のサポートと若い方々のかかわりが重要になってくる。若い方々に積極的に参加してほしい。
- ▶ ・買い物難民。移送の問題。ひきこもりの方々をどうするか。
- ▶ ・見守りの仕方について
アパート暮らしの新しく入ってくる方の見守りも大変になってくる。(二子)
見守る方々も負担にならない見守りをしたほうが良い。
高齢者の方々に子供のサポートしてほしい。
若い方々が住みたくなくなる地域にしないと支えてもらう方が少なくなる。
- ▶ ・子ども食堂
地域の高齢者に来ていただき、子供たちと関わる食堂
- ▶ ・3000円のバス券を上げてほしい。非課税だけにしないでほしい。

グループワーク

②グループ

- ▶ ・更木地区は約40%の高齢化率
- ▶ ・移動の手段→コミュニティバスは元気な方でないと乗れない。バス停まで自力で来ることが難しい。本数の問題。
 - ※通院・買い物もタクシーは高額。独居の方は尚更大変。配達してくれるサービスがあれば。コンビニやスーパー、生協の配達。
 - ※商店の減少→移動販売は商店にとって活路になるか。自分で選ぶことの大切さ。
 - ※車の運転問題ギリギリまでするしかない。
- ▶ ・空き家、空き地の提供→リノベーションにお金がかかる。
 - 土地の税金→更地だと土地代高くなる。
- ▶ ・独居者の見守り→社協支部で行うが、それ以上どうするか・・・
 - ※情報共有の大切さ→包括支援センター職員らと情報共有するようになった。
- ▶ ・郵便局見守りなど→配達サービスなどやったが、民営化で白紙になり又、復活しつつあり。有料化して見守りしている。自宅に訪問して通帳の出し入れも可能。(月2500円)

グループワーク

③グループ

- ▶ ・今いまもう危機感ある。
- ▶ ・ホットライン入れる→失敗談。間違ったら申し訳ない。
いきなり消防が来るのでなければ・・・例えばアルソックが来る？
※必要な人が利用できるように、知らない。申し訳ない。まだ大丈夫。
- ▶ ・救急車をタクシー代わりに使う人もいる。
- ▶ ・運転→正直他人ごとではない。事故が多くなってきている。
運転操作が問題。音が静か。※車を買って替え→停止装置。補助を出して欲しい。
※公共交通→バスで揺れて病院に着く前に具合悪くなる。長時間かかる。
※歩けない→バスも大変。（バス停までどうやって行く？）門口まで来てもらえるといい。
※白タク万が一のこと ※町に行く人についでに乗せてもらう。
※家族同居していても敬老会に来る足がない。
- ▶ ・ボランティア→みんな働いているのでいない。担い手、人材不足、頭数が少ない。
- ▶ ・10年後見守る人→・・・
- ▶ ・見守り協定→年に7～8件、少ない印象。他と繋がっていない人結構いるかも・・・

グループワーク

④グループ

- ▶ ・交通の便→買い物、通院、家族構成の変化など。

今あるのは鬼まる号（きめ細かいルート短時間で目的地へ）

タクシーはやっぱり便利・・・でも料金高い。500円ワンコインかな・・・

※交通の便が悪いとなんでも我慢してしまうと思う。

- ▶ ・歳をとるとやっぱり孤独になる。

お元気訪問あると良い（近所の方へ話しやすいことも）

コミュニケーションを通して元気になる。隣近所のきずながあると良い。

街の中心の民生委員さん、なり手が少ない。※民生委員の立場や報酬を明確に

- ▶ ・やっぱり地域包括支援センター
- ▶ ・若い世代を取り巻く環境も良くない。
- ▶ ・一職種では背負い切れない。
- ▶ ・お年寄りの行方不明などGPSなど探す手段あると良い。

※案外地域全体のことをみんなで話あう機会ってない。※地域の中で見守っていけるとよいな。

グループワーク

⑤グループ

- ▶ ・ 運転免許→更木から病院まではタクシー3000円以上かかる
コミュニティバス→バス1週間に2回、1日2回。
※県立中部病院まで1時間かかる。具合悪いのにますます具合悪くなる。
※口内移送サービスNPO法人→他の地区にも移送サービスと思うが、なかなかNPO法人立ち上げるのは難しい。市（行政）だけで考えるわけにはいかない。協力はできる？切実！
※更木おたすけライフは今→ボランティア他に仕事しているとできない。
- ▶ ・ 免許返納（免許取り上げてしまったら誰が支援するの？）
更木高齢者夫婦→夫は運転している90歳。無免許らしい。
夫ヘルパー拒否→誰の言うことなら聞き入れる。（娘、息子亡くなった）
近所の人を手伝えるか？→難しい。
- ▶ ゴミ屋敷、ヘルパーお願いしたいけど拒否。人を入れたくない。恥ずかしい。
- ▶ ※見守りしながら、夫が弱ったら、SOS出してくれる？
- ▶ ※せめて、食べ物買い物のボランティアを提案してみてもどうかな？

⑤グループ

- ▶ ・二子は歩いて移動できる→どこにも3kmくらいかな
- ▶ ・二子独り暮らし（男性）90歳。飲酒すると電話しまくる。（ベランメ～口調荒くなる）

ホットラインを押したのか？触れたのか？返答があいまいなので、消防が出動する 때가時々ある。今まで年に1～2回だったが、最近またあった。消防の方は何も無い前に行けるので良いと話してくださる。

- ▶ ・会議→酒を飲まないほうが良い。一時的になかった。
依存症ではないよう・・・さみしいのかな→飲まないととても穏やか。
医療、専門職の人にみてもらって。

⑥グループ

- ▶ ・ 10年後にあったら良い制度

「どら焼きもつくれば良いのか」から草刈り時でも話せる仲に（得意なことから仲良くなり、今は困ったことも話せる関係に）

※関われない人の心を開かせることが大切。

- ▶ ・ 酔っぱらってお世話になる（いたずらでも本当のことが起きれば）
- ▶ ・ 地域により車が必要（高齢者向け車両）→年齢できることではない。
※同級生同士で免許返すようにしてみても・・・
- ▶ ・ 抱えている思いを吐き出せるような
- ▶ ・ 災害起こってもベッドで寝ている（成るようになる）
- ▶ ・ 誰でもウエルカムではないので、何かあったら連携できるように。

⑦グループ

- ▶ ・こんなサービスあれば良いな

安く入れる施設

おでかけ券（金額ではなく回数で）

乗り合いタクシー（バスだと時間が合わない）

年金もっと高かったら動けるのになあ

空き家が増えているため活用してほしい

ヤクルトさん「元気ないなあ」など安否確認している。目届かないところもあるので助かる。

社協の移送：独居、障がい者、申請通れば移送サービスある（条件がある）

今後も独居、高齢者世帯増えてくる。空き家も増えてくる。

免許返納しても良いが、足が無くなる。やっぱり返納しないほうが良いかなと思ってしまふ。

⑧グループ

- ▶ ・今40軒だが、半分が高齢者独居。後継者どうなるんだ
→10年後と言わず、1~2年後も不安。人口増加が望めない
→ケアハウスのようなものがあれば。
- ▶ ・移動手段→地域の境が山で区切られ、車無しでは大変。免許返納したくてもできない。
ゴミ出しも車。コミュニティバスのバス停まで遠い。
昔は移動販売があったが・・・
自動ブレーキを後付けできる補助→1割負担で。おでかけ券3000円→片道で終わる。
- ▶ ・77世帯、新築もあるが、出る方も多く空き家がある。
二子5区農村地帯、→土地があるので79世帯、97世帯2世帯が多い。小学生30人いる。
- ▶ ・空き家農地転用して・・・難しい。※補助→北上市住宅8戸以上の集合住宅作ると50万円補助。
- ▶ ・70代前後を境目に家（仏さんを守らないと、墓を守りたい）離れられない。
→迷惑をかけられないから、そこは割り切れる。
- ▶ ・地域の班長の仕事（広報、回覧板）高齢者世帯はとばす。
→回ってくるのが速い（できる家にばかり班長なので）郵便局などに依頼出来たら
- ▶ ・移動問題→以前は頼まれて乗せることはできるが、今は自ら乗せていってあげるとは言えなくなった。
責任と不安。

⑨グループ

- ▶ ・ 移動手段→バス券も不足、自由に動けず元気がなくなる。
取りに行くこと自体も面倒。金額的にも十分でない。事業所には送迎のみの依頼もあるが、法的に困難。
当番医の幅を広げてもらうことができれば・・・
→仕事が休みの家族に送迎をしてもらえる!!
医院のお休みの日をずらしてもらったら。
企業の協力は得らないの? →施設で空いている車両の提供など
移動販売があれば・・・
おに丸もっと細部にまで走ったら。

研修の様子

